

様式第4（第5条関係）
（その1）

令和7年4月2日

設楽町議会議長

設楽町議会議員

氏 名 山口伸彦

令和6年度 政務活動費収支報告について

設楽町議会政務活動費の交付に関する条例第8条第1項に基づき、別紙のとおり
令和6年度政務活動費収支報告書を提出します。



(その2)

令和6年度政務活動費収支報告書

氏 名 山口伸彦

1 収入

政務活動費 120,000 円

2 支出

科目	金額	備 考
調査研究費	20,800円	別紙内訳のとおり
研修費		
広報費		
広聴費		
要請・陳情活動費		
会議費		
資料作成費		
資料購入費		
合計	20,800円	

3 残額

99,200円

- (注) 1 備考欄には、主たる支出の内訳を記載する。
2 領収書又はこれに準ずる書類を添付する。

支払証明書

[illegible]

※「整理番号」については、出納簿の整理番号と一致させること。

※ 按分により政務活動費を充当した場合は、「備考」欄に、支払総額及び按分率を記載すること。

上記のとおり相違ないことを証明します。

7年 4月 2日

議員名 山口 伸彦

議員名： 山口 伸彦

整理 番号	活動概要		
1	日程	6年11月20日(水) ～ 6年11月21日(木)	1泊2日
	訪問先及び所在地【市区町村名まで記入】	福井県福井市 他	
	目的・内容・成果等(具体的に記入)		
	詳細及び所管については、別添のとおり		
整理 番号	活動概要		
	日程	年 月 日 () ～ 年 月 日 ()	泊 日
	訪問先及び所在地【市区町村名まで記入】		
	目的・内容・成果等(具体的に記入)		

令和7年4月2日

政務調査行政視察報告書

政務調査行政視察氏名 山 口 伸 彦

政務調査行政視察

記

- 1 日 時 令和6年11月20日(水)から11月21日(木)
- 2 参加者 加藤議長、今泉副議長、山口議員、金田議員、原田直議員、
原田純議員、村松純議員 7名
- 3 視察先 11月20日 福井市 足羽川ダム工事事務所及び現場
・足羽川ダムの概要、工事の進捗状況、地域振興策について
・足羽川ダム工事現場におけるコンクリート打設の状況等
11月21日 大野市 九頭竜川総合管理事務所及び真名川ダム
・九頭竜川ダムの管理運営について
・真名川ダムの水力発電事業について
- 4 行 程 別紙のとおり
- 5 宿 泊 福井マンテンホテル駅前 宿泊料 13,980円(夕食代込)
福井市中央1-11-1 ☎ 0776-20-0100
各自現地にて支払いをお願いします。
- 6 その他 足羽川ダム工事事務所
九頭竜川総合管理事務所
各事務所のHPを確認し、事前研究をお願いします。

議員研修（政務調査）行程表

第1日 11月20日（水曜日）

午前8時00分 設楽町役場 出発

・・・移動（新城IC・・・新東名高速・・・東名高速・・・名神高速・・・北陸道

武生IC・・・越前そばの里 昼食11:30～12:30）

午後1時30分 北陸地方整備局 足羽川ダム工事事務所 到着（福井市）

午後2時30分 足羽川ダム工事事務所 出発

・・・移動・・・

午後3時20分 足羽川ダム工事現場 到着

午後4時20分 足羽川ダム工事現場 出発

・・・移動・・・

午後5時10分 ホテル到着（福井市 駅前）

※ 福井マンテンホテル駅前

TEL 0776-20-100

部屋 シングルルーム（全室禁煙） 喫煙ルームは1、2階に有り

第2日 11月21日（木曜日）

午前8時30分 ホテル 出発

・・・移動・・・

午前9時30分 北陸地方整備局 九頭竜川総合管理事務所 到着（大野市）

午前10時30分 九頭竜川総合管理事務所 出発

・・・移動・・・

午前11時00分 真名川ダム管理支所 到着

午前12時00分 真名川ダム管理支所 出発

・・・移動（九頭竜湖付近で昼食12:30～13:30・・・東海北陸道・・・東海環状道藤岡IC）・・・

午後5時00分 設楽町役場 到着

移動 レンタカー（中央自動車・ベルファイア）

政務調査視察の所感

1. 足羽川ダム

- ・まず第一に実際にダム本体のコンクリート打設の現場を確認出来て良かった。
- ・それにより、どういう施設が必要で、どういう形で打設しているのかがわかり、設楽ダムもこんな風になるのかを確認できた。
- ・ダムコンクリート打設現場を実際に見て、観光施設になりうることがわかり、ダム特委員会で展望施設の設置を要望し、作るとの確認できたことが良かった。
- ・東三河広域連合議会においても、ダム建設中の現場を子供たちに見せることの重要性を訴えたが、なかなか進まなかった。
- ・一方、町議会でも観光協会と協力して、ダム見学ツアーの年間実施を呼びかけて所、実施の方向に向けて頑張るとの話をもらえた。
- ・ダム湖周辺に関係する設楽町の諸活性化計画が総体的に具現化されていないから早急に検討をすべきであると感じた。

2. 九頭竜川総合管理事務所

- ・所長さんが、建設から50年経過しているダムの地域振興策を丁寧に説明していただいた。
- ・やはり、ダムを観光資源として、地域を巻き込んだイベント等の開催が重要だと改めて認識した。
- ・50年後でも観光施設になりうるダムの建設を訴える必要性を感じた。
- ・小水力発電事業では、耐用年数後の稼働をどうしていくのかを考えながら運用していくことが大事だと思った。
- ・設楽ダム建設合意をしたのは、設楽町が将来に向けて安定定住可能な地域づくりを県と東三河下流市との合意の基に約束された計画で有る事を再確認して、早期に総合的に具体化、文章化し町民に公表する時期が来ていることを実感した。